

事業企画戦略室会議 (平成 26 年度第 4 回)

議 事 録

2014 年 11 月 11 日 (火) 開催

時 間	15:00～17:00		場 所	地盤工学会 3 階中会議室	
大 林 淳 室 長	○	保 高 徹 生 幹 事	○	高 梨 俊 行 室 員	○
高 橋 英 紀 室 員	○	並 河 努 室 員	○	南 部 い づ み 室 員	○
堀 雅 明 室 員	○	山 田 岳 峰 室 員	○	渡 邊 康 司 室 員	○
渡 邊 保 貴 室 員	×	事務局：松本雅樹	×	事務局：伊佐治敬	○

○：出席 ×：欠席 △：未定

【議 題】

議事録担当者の選出 → 山田部員

1. 前回議事録の確認 (堀室員) 【別紙-1】
 - ・ 前回議事録を確認し、承認された。

2. ダイバーシティ委員会との連携の今後の方向性の整理 【別紙-2】
 別紙-2「組織の活性化」について意見交換した。
 - ・ 研究発表会でサロン・ド・カフェが継続的に開催されることについて、関係する部と各支部の理解を得るように、ダイバーシティ委員会を支援する。
 - ・ 委員会や WG の開催状況をオブザーバー的に見学できると良い。活動内容の理解が進み、会員が、部会や委員会に参加しやすくなる可能性がある。
 - ・ 委員会メンバーを勧誘する際に、会員データベースを利用する方法も考えられるが、個人情報であり、安易に利用することは難しい。
 - ・ 東畑会長から、シニア会員から若手への技術伝承の検討依頼があり、事業普及委員会で、シニア会員を講師とした講習会を開催している。11 月中旬に第 1 回を開催する予定で、第 2 回まで内容が決定している。年度内に第 4 回まで行う予定である。
 - ・ 若手や長期戦略といった理事枠の新設について、メリット、デメリットを整理する。その上で、総務部会や、正副会長会議で説明する。
 - ・ 渡邊 (保) にも本件に担当として加わってもらい、検討を進める。

3. 中長期財政検討委員会からの指示について 【別紙-3】
 別紙-3「公益出版事業に関する検討」について意見交換した。
 - ・ 平成 24 年以降の公益出版部の収支差に注目すると、赤字額が増大しており問題になっている。
 - ・ その理由が明確になっていない。
 - ・ 出版部の過去 5 年間の予算執行状況 (：データ) を保高幹事に連携する。
 - ・ 保高幹事の方で、データを分析し、問題点をリストアップする。

4. 電子図書館について (②成果の公開の推進) 【別紙-4】
 別紙-4「電子図書館の利活用方法に関して」について意見交換した。
 - ・ 電子化の対象、電子化のメリット・デメリット、電子化に掛る費用、期間を整理する。
 - ・ 網羅的に一斉に電子化を進めるといった考え方一方で、シンポジウム論文集からまずは始めるといった考え方もある。
 - ・ 電子化を担当する部会や委員会も明確すべきである。
 - ・ 以上を整理して、正副会長会議で相談する。

5. 会員データベース (④組織の活性化) 【別紙-5】
 別紙-5に基づき、会員データベースの現状を理解した。
 - ・ 会誌の送付や会費の徴収に必要な最小限の基本情報しかない。
 - ・ デ

6. 広報について（関連：①情報発信・広報の強化）
次回以降に審議する。

【別紙-6】

7. 委員会のレビュー方法（③マネジメントサイクルの確立）

【別紙-7】

別紙-7「③マネジメントサイクルの確立への取り組み」について意見交換した。

- ・ できるだけ簡素な内容を心掛けた。戦略室意見を記載できるようにした。
- ・ ダイバーシティ委員会から要望もあることから、若手並びに女性委員数の欄を追加する。
- ・ これまで通りの工程でレビューを進めると当該年度の評価が予算に反映されない。より速効性を確保し予算に連動させるため、以下のような進め方も考えられる。

- ✓ 8月にレビューを依頼
- ✓ 9月にレビューを回収し、10月末までに一次取り纏め案を作成
- ✓ 11月の理事会に一次案諮り、理事会意見を部会・委員会にフィードバック
- ✓ 翌年1月までに、関係する部会や委員会で2次案を作成する
- ✓ 翌年3月の理事会に、二次案を諮る。6月に開催される総会で最終決定する。
- ✓ 評価対象期間は、前年度の秋から当該年度の夏頃まで

- ・ 11月の理事会に検討状況の概要を説明できるように資料を準備する。
- ・ レビュー先（レビューの対象範囲、全部会、委員会を対象とするのか、若しくは一部の部会、委員会を対象にするのか）も整理する。

8. 平成27年度事業方針・事業計画、予算

【別紙-8】

別紙-8「平成27年度 事業企画戦略室 事業計画」について、報告があった。

- ・ 事業計画が承認された。
- ・ 地震品質判定士協会の要請により、事業企画戦略室から、協議会幹事に室員1名を推薦する。大林室長が室員1名を追加する方向で人選中である。

9. その他

- 1) 第6回事業企画戦略室会議の開催日確認：平成27年1月15日（木）14:00～17:00
- 2) 次回理事会への提案事項
 - ・ 審議事項：
 - ・ 報告事項：委員会のレビュー方法